

会告

2019 年台風 19 号等災害調査団（仮称）の設置と団員の募集

一般社団法人 日本応用地質学会
会長 脇坂安彦

台風 19 号およびその後の令和元年 10 月 25 日～26 日の豪雨では堤防の決壊などによる洪水、斜面災害などが広範囲にわたり多数発生いたしました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申しあげます。また一日も早い復旧、復興を願っております。

日本応用地質学会では台風 19 号による災害に対しまして令和元年 10 月 15 日に災害対応本部を設置し、災害対応本部による審議の上、令和元年 10 月 24 日開催の理事会にて「2019 年台風 19 号等災害調査団」（仮称）を設置することを決議いたしました。理事会ではこの災害調査団は、災害地質研究部会および応用地形学研究部会を中心として構成し、被災地が多かった東北支部の支援を受けることとなりました。また災害対応本部では、調査団長を向山栄副会長、副団長を稲垣秀輝災害地質研究部会長とすることとし、台風 19 号後の 10 月 25 日～26 日の豪雨災害についても調査対象とすることいたしました。

2019 年台風 19 号等災害調査団（仮称）では、調査団員として現地調査、その後の解析、報告書の執筆に参加して下さる関東・東北地方在住の会員を中心に募集いたします。調査団の期間は概ね令和 2 年の 12 月までを考えております。調査団に参加ご希望の会員は、下記事項について学会事務局まで電子メールにてお申し出下さい。なお、応募多数の場合には災害調査団長、副団長で人数の調整をさせていただきます。

記

1. 会員氏名
2. 会員番号
3. 所属先（会社名など）
4. 所属支部
5. 専門分野（次から選択して下さい。複数選択可）
災害地質全般、斜面・地すべり、砂防、地形、地盤、地下水、土木地質、その他（具体的にお書き下さい）
6. 応募締切 令和元年 12 月 22 日

応募先：一般社団法人日本応用地質学会事務局

電子メール：office@jseg.or.jp

電子メールの件名は「2019 年台風 19 号等災害調査団応募」として下さい。

以上